

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年7月18日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンホールディングス
コード番号 4929 URL <https://www.adjuvant-hd.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役会長兼社長 （氏名）中村 豊
問合せ先責任者 （役職名）取締役経営管理本部本部長 （氏名）中村 卓哉 TEL 078-351-3135
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無： 有
決算説明会開催の有無： 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年3月21日～2025年6月20日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	958	△9.9	△10	—	△12	—	11	△16.6
2025年3月期第1四半期	1,062	△1.0	1	—	24	—	13	—

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 18百万円（△7.5％） 2025年3月期第1四半期 19百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	1.41	—
2025年3月期第1四半期	1.69	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2026年3月期第1四半期	5,206	4,101	78.8	511.65
2025年3月期	5,292	4,178	79.0	521.36

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 4,101百万円 2025年3月期 4,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	0.00	—	12.00	12.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年3月21日～2026年3月20日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	4,365	6.5	126	△0.4	127	△5.4	73	81.5	9.22

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料 8 頁 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項「会計方針の変更に関する注記」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	8,043,600株	2025年3月期	8,043,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	28,203株	2025年3月期	28,203株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	8,015,397株	2025年3月期1Q	8,000,597株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー： 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 頁「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものです。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間(2025年3月21日～2025年6月20日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費には持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかに回復いたしました。しかしながら、米国の関税政策等の影響による景気後退への懸念や、物価上昇が続く影響による個人消費の下振れリスクも高まっており、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

美容業界のトレンドは、“自分らしく”や“私たちらしく”など、個性を重視する時代へと変化しています。物価高の影響を受けても従来型メニューだけではなく付加価値のあるメニューの利用が増える傾向にあり、心豊かな生活を目指す方々にとって美容業界は重要な存在となっています。

このような中、当社グループは「再成長に向けた事業基盤の強化と変革」を掲げた、「新中期経営計画 2025-2027 NEXT」を進めています。1年目となる2025年度は、「新規サロン獲得プロモーションの拡大」「店販活動の活性化施策」「リピート機会損失軽減・クロスセル向上」「情報一元化による効率化」等サロンの安定した経営サポートに向けた重要施策や、「付加価値を高める商品展開提案」「新たなユーザー層を開拓するための商品開発」を遂行します。

当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、958百万円（前年同期比9.9%減）となりました。オンライン環境や営業管理プラットフォームなど営業活動の効率化を図る環境改善に加えて社員への浸透促進活動に取り組みましたが、減少する結果となりました。詳細は区分別売上高の概要を参照ください。なお、取引サロンの実稼働軒数※は、11,318軒（前年同期比 1,119軒増）となりました。

利益面におきましては、売上減等による粗利益減少をIT関連費、減価償却費等の販管費を削減するもカバーできず営業損失10百万円（前年同期は営業利益1百万円）、為替差損などにより経常損失12百万円（前年同期は経常利益24百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は11百万円（前年同期比16.6%減）となりました。

※当該四半期期間内に取引があったサロンの軒数

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりです。

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額	増減率
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	（%）
スキンケア	406	38.2	342	35.8	△63	△15.6
ヘアケア	684	64.4	656	68.5	△28	△4.1
その他	58	5.5	24	2.6	△33	△57.3
売上割戻金	△85	△8.1	△65	△6.9	19	—
合計	1,062	100.0	958	100.0	△104	△9.9

- (注) 1. 前第1四半期連結累計期間については、ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）、株式会社2C（連結子会社）及び株式会社シアール・プロフェッショナル（連結子会社）の売上高が、「その他」に含まれています。当第1四半期連結累計期間については、ADJUVANT GLOBAL COMPANY LIMITED（連結子会社）及び株式会社2C（連結子会社）の売上高が、「その他」に含まれています。
2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しています。

国内海外別売上高は、次のとおりです。

区分	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減額	増減率
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	（%）
国内売上高	1,000	94.2	906	94.6	△94	△9.5
海外売上高	62	5.8	52	5.4	△10	△16.2
合計	1,062	100.0	958	100.0	△104	△9.9

（スキンケア）

スキンケア商品の売上高は、昨年4月に上市した「TOUQU to tone(トークトゥーン)」の1周年企画を開催いたしましたが、スキンケア全体としては、前年同期より減少の結果となりました。ブランドとしては、「MELECT(ミレクト)」と「rafuna(ラフナ)」は、前年同期より伸長いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は342百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

（ヘアケア）

ヘアケア商品の売上高は、アウトバス・スタイリング剤ブランド「muts（ミューツ）」から6月に2品を新発売し、さらにヘアカラー関連商材を新たに投入しましたが減少する結果となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は656百万円（前年同期比4.1%減）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して85百万円減少の5,206百万円となりました。流動資産は、前連結会計年度末と比較して208百万円減少の3,323百万円となりました。主な変動要因は、現金及び預金349百万円の減少、棚卸資産80百万円の増加、売掛金59百万円の増加などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して123百万円増加の1,883百万円となりました。主な変動要因は、投資有価証券114百万円の増加、繰延税金資産24百万円の増加、減価償却累計額17百万円の増加などによるものです。

負債合計は前連結会計年度末と比較して7百万円減少の1,105百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して2百万円増加の661百万円となりました。変動要因は、賞与引当金54百万円の増加、買掛金23百万円の増加、未払金16百万円の増加、その他流動負債1百万円の増加、未払法人税等93百万円の減少によるものです。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して9百万円減少の444百万円となりました。変動要因は、長期未払金8百万円の減少、リース債務2百万円の減少、退職給付に係る負債1百万円の増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末と比較して77百万円減少の4,101百万円となりました。主な変動要因は、配当金の支払による減少96百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益11百万円、その他の包括利益累計額7百万円の増加などによるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、前回発表（2025年4月18日）の連結業績予想からの変更はありません。今後の業績推移などによって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,224,895	1,875,763
売掛金	363,185	422,722
商品及び製品	609,467	713,508
仕掛品	54,238	36,795
原材料及び貯蔵品	188,702	182,993
その他	94,784	95,537
貸倒引当金	△2,816	△3,594
流動資産合計	3,532,459	3,323,727
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,201,759	1,201,759
土地	579,283	579,283
その他	466,862	469,709
減価償却累計額	△900,757	△918,323
有形固定資産合計	1,347,147	1,332,428
無形固定資産	37,842	36,946
投資その他の資産		
投資有価証券	201,882	316,567
長期貸付金	1,783	2,359
その他	176,639	200,524
貸倒引当金	△5,730	△5,730
投資その他の資産合計	374,574	513,720
固定資産合計	1,759,564	1,883,094
資産合計	5,292,024	5,206,822
負債の部		
流動負債		
買掛金	148,505	172,074
未払法人税等	96,370	2,773
賞与引当金	95,320	150,037
その他	318,321	336,191
流動負債合計	658,518	661,076
固定負債		
退職給付に係る負債	48,871	50,137
資産除去債務	27,635	27,660
長期未払金	356,345	347,375
その他	21,728	19,533
固定負債合計	454,581	444,706
負債合計	1,113,099	1,105,782

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	776,580	776,580
資本剰余金	752,200	752,200
利益剰余金	2,665,298	2,580,406
自己株式	△21,330	△21,330
株主資本合計	4,172,748	4,087,856
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	959	9,983
為替換算調整勘定	5,217	3,199
その他の包括利益累計額合計	6,177	13,182
純資産合計	4,178,925	4,101,039
負債純資産合計	5,292,024	5,206,822

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年6月20日)
売上高	1,062,896	958,113
売上原価	360,829	283,562
売上総利益	702,067	674,550
販売費及び一般管理費	700,124	685,014
営業利益又は営業損失(△)	1,942	△10,463
営業外収益		
受取利息	21	13
受取配当金	5,042	—
受取家賃	400	300
為替差益	14,291	—
受取手数料	312	287
雑収入	2,368	132
営業外収益合計	22,436	733
営業外費用		
為替差損	—	2,899
保険解約損	2	—
営業外費用合計	2	2,899
経常利益又は経常損失(△)	24,376	△12,629
特別損失		
固定資産除却損	—	7
特別損失合計	—	7
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	24,376	△12,637
法人税、住民税及び事業税	41,498	4,351
法人税等調整額	△30,663	△28,282
法人税等合計	10,835	△23,930
四半期純利益	13,541	11,293
親会社株主に帰属する四半期純利益	13,541	11,293

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年6月20日)
四半期純利益	13,541	11,293
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,819	9,023
為替換算調整勘定	2,428	△2,017
その他の包括利益合計	6,248	7,005
四半期包括利益	19,789	18,298
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,789	18,298
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っています。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しています。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっています。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社グループは、化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月21日 至 2024年6月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月21日 至 2025年6月20日)
減価償却費	37,896千円	23,180千円